

アメリカ公文書からみた日本被災地

1945 年 7 月 21 日付け軍機密文書
アメリカ軍の空襲目標 180 都市



太平洋戦争が終結を迎えようとした 1945 年（昭和 20）7 月、連合国はポツダム宣言受諾を日本に促すためにも、残された都市へ最後の攻撃をかけた。

初期～終末日本攻撃段階は、大きく 4 つに分かれる。

①軍事施設・軍需工場空襲…特に飛行機関連

三菱航空機・住友金属・中島飛行機工場など

②大都市空襲……東京・大阪・名古屋・神戸・横浜など

③中小都市空襲…浜松・福岡・四日市・豊橋・静岡など

④石油施設空襲…大中小都市空襲と合わせて攻撃

この図には載っていないが、豊川海軍工廠も攻撃を受けた。

『語り伝える空襲 降り注ぐ爆弾の雨』
安斎育郎著 新日本出版社刊